

製品名: エメリンウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe01946

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 29 kDa; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	EMD
別名	STA; EDMD; LEMD5
遺伝子 ID	2010
SwissProt ID	P50402
免疫原	ヒトエメリンの合成ペプチド

背景

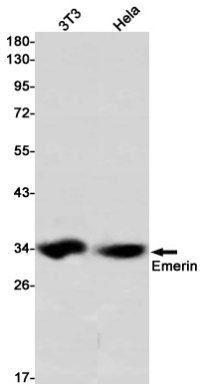
エメリンは他の転写調節因子との結合を通じて遺伝子発現を制御する可能性がある。エメリンは β -カテニンに結合し、その核内蓄積

を阻害する。最近の研究では、エメリンが HIV-1 の感染性に必須であることが実証されている。

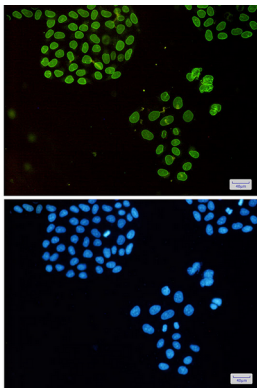
研究分野

シグナル伝達

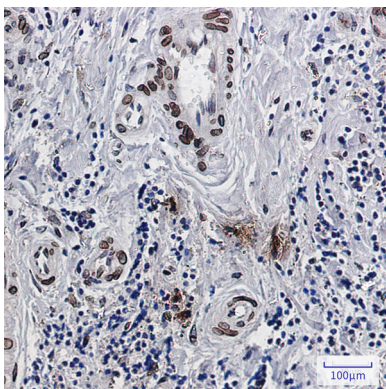
画像データ



エメリン抗体を使用した 3T3、Hela 溶解物中のエメリンのウエスタン ブロット分析。



エメリン抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中のエメリン (緑) の免疫細胞化学分析



エメリン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。